

農大だより

入学式

4月9日(木)

4月9日(木)に令和8年度入学式が挙行されました。今年度は、園芸学科野菜コース11名、花きコース3名、果樹コース4名、畜産学科8名、合計で26名の学生が入学しました。

式では、酒井 浩校長から「本日から始まる2年間の学校生活は、皆さん自身を鍛え、高める、社会人として巣立っていくための重要な準備期間である。規律を守り、地道な努力を積み重ね、失敗を恐れず挑戦し続け、将来、社会から信頼される農業人となるための基盤を築いてください。職員一同、皆さん一人ひとりの成長を、厳しさと温かさをもって支えます」との式辞がありました。

学生を代表して学生会長の大場汰駕さんが「本校は農業の未来を担う若者の集まりです。この出会いを大切にしながら実社会や農業振興に活躍できる人材となれるようお互い協力して頑張ってください。」と歓迎のことばがありました。新入生を代表して植村真大さんから「長崎県の農業の発展に貢献できる人材になれるよう何事にも積極的に取り組んでいきます。」と力強い誓いの言葉がありました。

次世代の農業を担う若者たちの学びと今後の活躍が大いに期待されます。



フラワーアレンジ (花きコース)



式辞を述べる酒井校長



歓迎の挨拶をする大場学生会長



入学の誓いをする植村さん



令和8年度 新入生一同

ホームページにも最新情報満載！！

URL : <http://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/noudai/index.html>



読み取ると農大HPへリンクします！

新入生研修

4月16日(木)

新入生研修を本校体育館で実施しました。午前中はアイスブレイクによる相互理解と諫早消防署の指導のもと集団訓練とAED講話がありました。午後からはロープワーク、救急救命講習を行いました。ロープワークではなかなか要領を得ず、悪戦苦闘しながらの学びでした。

この研修でお互いが協力し、心を開くきっかけとなりました。協力することの大切さ、仲間を思いやることの重要性を学び、とても有意義な研修となりました。



救急救命講習の様子



ロープワークの様子

農業法人・企業説明会

5月27日(水)

5月27日(水)13時30分から農大主催の農業法人・企業説明会が本校体育館で行われました。参加者は1学年26名と2年生は就職希望者8名、合計で34名が参加し、16社の参加がありました。最初に各社から簡単な企業説明があり、その後、各ブースに分かれての説明となりました。参加した学生は熱心に耳を傾け自分の将来について考える貴重な時間となりました。



各社の説明に耳を傾ける学生



事業内容を説明する農業法人

参加した学生の感想

・今回の講話を通して気づいた事は、農業分野の職業は幅広いということです。生産から消費者に届くまで色んな職業があって、私は営農指導員になりたいと思っていましたが、他の職業も考えてみようと思いました。
・各企業の説明を聞く前に、全体説明があったので、自分が今学んでいる分野以外にもどのような企業があるのか分かったのがすごく良かった。
・どの企業も社員さんたちのことをしっかりと考え、社員が働きやすい環境をつくり会社の目標に向かって日々の努力をされて頑張っているとのことだったので、とても良い企業だと思いました。将来はこのような企業に就職したいと思いました。
・今回の企業説明会を聞いて、各企業の事業内容について深く知ることができました。どの会社も福利厚生がとても手厚く、また、週休2日、年間休日が多かったりと、今の時代に合わせた会社がとても多いと思いました。

発行日 令和8年7月10日

発行者 長崎県立農業大学校

所在地 〒854-0062 諫早市小船越町3171

TEL 0957-26-1016 FAX 0957-25-3871

E-mail : noudai@pref.nagasaki.lg.jp

Vol.1

第1回オープンキャンパス

5月23日(土)

5月23日(土)第1回オープンキャンパスが実施されました。県内の高校より28名の生徒と保護者及び関係職員18名、合計で46名が参加しました。

まず本校の酒井校長より歓迎の挨拶があり、教務課から本校の概要説明がありました。また2年生の学生より各コース・学科についての紹介があり、その後、各学科・コースに分かれて実習体験が行われました。

最後に、飛雲寮に移動して、学生が生活している寮の見学と、食堂で昼食のカレーを食べて、すべての日程を終了しました。

オープンキャンパスに参加された生徒の感想は下記の通りです。



野菜コースを紹介する学生



野菜コースの体験



花きコースの体験



果樹コースの体験



畜産学科の説明



飛雲寮での昼食

オープンキャンパスに参加した生徒の感想

・オープンキャンパスは今回が初めてで、まだよく見れていないところはあったけど、今回希望した花きでは、花きについての説明と体験を受けて初めてのことを知ることができたので楽しかったです。
・農業を少し身近に感じることができました。楽しい体験をありがとうございました。
・寮がとても綺麗で、設備がしっかりしており、実際に宿泊することで先輩方と仲良くできて良い体験でした。また来たいと思いました。
・優しい先輩と楽しそうな学校生活の話を知ることができて、入学してみたいと思いました。

学生会総会

5月14日(木)

学生会総会が5月14日(木)に第1教室で実施されました。令和7年度の事業および決算報告が各委員からあり、承認されました。また、8年度の事業計画および予算案についても承認されました。学生会の活動が今後、ますます活発になることを期待します。



学生総会の様子



挨拶をする大場学生会長



承認された学生会役員



説明をする増本体育委員長

学生会役員
 会長 大場汰駕
 副会長 谷崎遼翔
 〃 横田野乃
 〃 橋本和佳奈
 会計 貞松智宏
 監事 喜多伊織
 生活委員 前田大和
 文化委員 古賀純太
 防火安全 高柳善州
 体育委員 増本元希

ポスター投票

令和9年度学生募集用ポスターを決める投票が5月8日(金)に行われました。

3社からポスターデザインが提出され、学生及び職員が投票をしました。

その後、学生募集資料検討委員会が行われ、デザイン、予算、投票結果などを総合的に判断し、右のデザインが採用され、6月に完成しました。ポスターのモデルは、園芸学科野菜コース2年の牛島さんです。

今後、農大のPRに大いに活躍してくれることでしょう。



ポスターのコンセプト

テーマ「興味で育てる未来」
 キャッチコピー「その興味、きつと「芽」になる」

本ポスターのキャッチコピーは、何気ない関心や興味がやがて大きな可能性へと育っていく様子を表現している。「芽」という言葉から農業を連想させると同時にはじまりや成長といった期待を示し、まだ具体的な将来像が見えていない段階でも、「興味を持つこと自体に価値がある」と感じてもらえる表現である。

第39回九州地区スポーツ交歓大会

5月15日(金)

5月15日(金)山鹿市カルチャースポーツセンター(熊本県)を主会場として、スポーツ交歓大会が実施されました。参加校は福岡、佐賀、長崎、熊本、大分の5校で約430名の参加がありました。本校は学生及び職員で62名が参加し、4競技に出場しました。競技の結果、サッカー優勝、バドミントン女子が3位でした。



優勝したサッカー



3位の女子バドミントン



バドミントン



バレーボール



バスケットボール



総合閉会式



昼食も美味しく頂きました



閉会式後、全員で記念撮影

1年生農家等派遣研修

6月8日(月)～

1年生農家等派遣研修が6月8日(月)から4泊5日の日程で実施され26名の学生が参加しました。目的は「農家の生活を体験することで、農業への興味と理解を深め、学習目標設定の促進に資すること」です。5月21日に担当の山田講師より事前指導を受け、参加する全員が1人ずつ決意表明をしました。

8日(月)飛雲寮での出発式で酒井校長から激励の挨拶がありました。学生代表の音頭で「がんばろう！」コールをしてから目的地に向かいました。

今回の研修では、県央地域に10名、島原地域に10名、県北地域に6名が派遣され、受入れ農家の皆さんから経営理念を伺ったり、技術指導を受けるなど、とても貴重な経験となりました。



出発式であいあつをする酒井校長



「がんばろう！」コールをする学生



県央振興局管内の受入式



受入式で自己紹介をする学生



県北振興局管内の終了式



島原振興局管内の終了式

農家等派遣研修に参加した学生の感想

- ・農大の実習では栽培することのない品目や他県への出荷作業・田んぼでの作業について体験することができました。
- ・この研修で、「物事を柔軟に考えること」、「広い視野・視点を持つこと」、「作業を効率的に行うこと」などの大切さを学びました。
- ・この派遣研修で学んだ技術を学校生活で少しでも活かし成長し、日本の農業の力になれるような人間になりたいと思います。
- ・畜産は生き物を相手にする職業なので、規則正しい生活を送ることの大切さや、スムーズに作業を進める上でのコミュニケーションの重要性を学びました。

卒論テーマ特集号～その1～

野菜コース



喜多 伊織
(創成館高卒)
諫早市

「切断したバレイショ種いもの植え付け方法の違いによる生育及び収量の比較」

バレイショ種いものを、切断面を上向きにして植え付けた区、切断面を下向きにして植え付けた区、地表面近くに切断面を上にして植え付けた区の3区を設け、出芽日、生育、収量を調査しています。



川西 海翔
(諫早農業高卒)
長崎市

「きゅうり栽培における有機質肥料の有効性検証」

きゅうり栽培において、接ぎ木方法の違いにより成功率及びその後の生育に差がでるのか、また有機質肥料を使用した場合と、通常の化成肥料使用の場合とで収量に差がでるのか調査しています。



本多 敏輝
(島原農業高卒)
島原市

「ニンニク種子直下のリン酸が生育に及ぼす影響と有機質肥料の有効性検討」

ニンニク(平戸)を利用し、種子直下のリン酸の施用が生育に及ぼす影響及び有機質肥料施用の有効性について調査しています。



谷崎 遼翔
(諫早農業高卒)
雲仙市

「簡易ベンチにおけるアイスプラント栽培と塩水処理、整枝作業における品質・収量の違いについて」

有機培養土を袋ごと用いた簡易ベンチの作成とその簡易ベンチでのアイスプラント栽培での塩水処理と仕立て方の違いによって収量や味に変化が出るか調査しています。



森 一心
(島原工業高卒)
島原市

「メロン：肥後グリーンにおける1本仕立てと2本仕立て栽培の収量・品質の比較検討」

メロン「肥後グリーン」を用いて、仕立て方の違いによって、玉肥大、糖度、ネットの入り方に差がでるか調査を行っています。



貞松 智宏
(島原農業高卒)
雲仙市

「アスパラガスにおける高畝栽培と慣行栽培との比較(2年目)」

アスパラガスの収量は1年目より2年目の方が多くなるため、高畝栽培と慣行栽培の各様式でどの程度影響がでるのか調査しています。



野原 由隆
(鳴滝高卒)
五島市

「ソラマメの栽培環境と慣行肥料、低コスト肥料の施用が生育・収量に及ぼす影響」

ソラマメの露地栽培とハウス栽培の違い、及び慣行肥料と低コスト肥料の違いが、生育・収量にどのような影響があるのか調査しています。



前田 桜士朗
(島原農業高卒)
島原市

「夏秋ミニトマトにおける単為結果性品種導入及び自根栽培への挑戦」

ミニトマト栽培において、接ぎ木栽培と自根栽培で収量・品質に差がでるのか、また単為結果性品種の導入の可能性について調査しています。

卒論テーマ特集号～その1～

花きコース



前田 大和
(北松農業高卒)
佐世保市

「スカビオーサの切花に及ぼす栽植様式の影響」

スカビオーサの生産を行うにあたって、栽植様式が切り花本数や切花品質にどのような影響を及ぼすか調査しました。



果樹コース



古賀 純太
(長崎北高卒)
時津町

びわ「はるたより」における枝誘引による果実肥大の影響について

「はるたより」を用い誘引による結果枝の充実や、果実成長期に上部への引き上げ誘引による果実肥大を目的にプロジェクトに取り組んでいます。

果樹コース



富永 和孝
(諫早農業高卒)
時津町

びわ果実袋の違いによる果実収穫に対する影響

びわの果実袋を通常使用しているものと他に3種類準備して、障害果の発生や収穫時期の違い等を樹の上部、下部に分けて調査して効率的な果実生産を目指して頑張っています。



山口 暢斗
(精道三川台高卒)
諫早市

温州みかん「原口早生」におけるカルシウム剤による病虫害防除と日焼け果対策について

温州みかんを用いてカルシウム剤を用いて病虫害対策と高温障害である「日焼け果」対策を併せて行えないかをプロジェクトとして取り組んでいます。



～農大からのお知らせ～

農大では、10月17日(土)に第2回オープンキャンパスを開催します。たくさんのご参加をお待ちしております。

詳細は、農大教務課まで！

☎ 0957-26-1016

7月以降の主な行事

- 7/ 6(月)～10(金) 2年生国内研修旅行（北海道）
- 7/11(土)～12(日) 農大体験カレッジ
- 7/25(土) 1年生諫早万灯川まつり
ボランティア活動
- 7/27(月)～29(水) 前期試験
- 9/10(木)～11(金) 九州農大親善体育大会（鹿児島）
- 9/28(月)～10/28(水) 2年生農家等派遣研修
- 10/17(土) 第2回農大オープンキャンパス
- 11/21(土) 飛雲祭